


音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
		中医学生薬解説、参考・使用上の注意 および中医学以外の生薬解説・生薬学解説	
せー18	せつこつぼく 接骨木	甘・苦・平 肝・腎	9～15g、煎服。外用には適量。
中医生薬解説			
 <p data-bbox="430 578 598 608">ニワトコの茎枝</p>		<p data-bbox="730 371 1995 460">祛風利湿・舒筋活絡・活血止痛 風湿痺の関節痛に、防風・桑枝などと用いる。単味を水煎し患部を温湿布してもよい。打撲外傷の腫脹、疼痛に、当归・赤芍・川芎などと用いる。骨折、筋挫傷には、乳香・自然銅・当归などと用いる「折傷筋骨方」。</p> <p data-bbox="730 460 1995 504">その他 祛瘀利水の効能をもつので、慢性腎炎の水腫などに、玉米鬚・車前子などと用いる。</p>	
使用上の注意		鮮品がもつともよく、乾燥品はやや効力が劣り、炒用すると効果がほとんど消失する。多用すると嘔吐する。妊婦には禁忌である。	